

1. 新運営委員就任のご報告

2023年6月30日、消化器外科女性医師の活躍を応援する会（AEGIS-Women）運営会議において新運営委員を選出し、7月13日総会において承認しました。8月1日より新たな任期がスタートいたしました。新体制のメンバーは以下の通りです。

河野 恵美子	大阪医科薬科大学	会長・総務（庶務）・広報
大越 香江	日本バプテスト病院	副会長・総務（会計）・広報・規約
梅澤 昭子	四谷メディカルキューブ	広報・学術教育
小林 美奈子	日本医科大学武蔵小杉病院	学術教育・規約
高須 千絵	徳島大学	広報
長谷川 芙美	とりで医療センター	学術教育
松永 理絵	東邦大学医療センター佐倉病院	広報（ニュースレター）
石田 苑子	北播磨総合医療センター	広報（ホームページ）
林 沙貴	金沢大学	広報（SNS）
竹原 裕子	岡山済生会総合病院	学術教育
野村 幸世	東京大学	会計監事

以下五十音順

上原 圭	日本医科大学付属病院
海野 倫明	東北大学大学院
遠藤 格	横浜市立大学
掛地 吉弘	神戸大学大学院
北川 雄光	慶應義塾大学
窪田 寿子	川崎医科大学
島田 光生	徳島大学
調 憲	群馬大学大学院
永野 浩昭	山口大学大学院
藤川 善子	深見台中央医院
松原 久裕	千葉大学

宗景 匡哉 高知大学
矢永 勝彦 国際医療福祉大学大学院
和田 則仁 湘南慶育病院

顧問

大辻 英吾 京都府立医科大学

2. 会長就任のご挨拶

**消化器外科女性医師の活躍を応援する会（AEGIS-Women）会長
大阪医科薬科大学 一般・消化器外科 河野 恵美子先生**

会員の皆様、平素より AEGIS-Women の運用に格別のご支援、ご高配賜りありがとうございます。2023年8月1日より会長に就任しました、大阪医科薬科大学一般・消化器外科の河野恵美子と申します。会長という大役を任せていただくことになり責任の重さを感じておりますが、前任の野村幸世先生が築きあげた皆様からの信頼を壊さぬよう、誠心誠意務めてまいります。



当会は2015年11月に設立し、間もなく8年目を迎えようとしています。この間、女性の活躍を阻んできた長時間労働を中心とした労働慣行や固定的性別役割分担意識など構造的な課題を解決すべく、働き方改革関連法・女性活躍推進法が成立し、育児・介護休業法が改正されました。日本消化器外科学会では、男女共同参画委員会や働き方改革のワーキンググループが設立され、2022年には当会前会長の野村幸世先生が女性初の理事に就任されました。さらに、当会コアメンバーが中心となって進めてきた NCD（National Clinical Database、外科手術症例データベース）を用いた研究成果が、JAMA Surgery と BMJ に採択、掲載されました（[Kono E et al. JAMA Surg. 2022;157\(9\):e222938](#), [Okoshi K et al. BMJ. 2022;378:e070568](#). 次項に詳述）。2023年7月14日には第78回日本消化器外科学会総会において、消化器外科医としての男女の均等な活躍の支援を目指す「函館宣言」が発出されました（次項に詳述）。これら消化器外科領域の急激な変化に当会の存在が大きく影響を与えたことは言うまでもありません。8年間地道に活動を続けてき

た結果であり、会員ならびにご支援くださる企業の皆様のお陰とっております。この場を借りてお礼を申し上げます。

消化器外科領域は労働環境が厳しく、モノカルチャーな社会でした。しかし今、外科医それぞれがもつ能力・経験・キャリアといった「個」を重んじ、「全ての外科医が成功する社会」へと「変化」していくことが求められています。外科医の多様性を高めることは創造性、革新性を高め、ひいては患者ケアの質の向上にもつながっていきます。国民の皆様が安心して質の高い外科診療を受けることができるように、ひとりひとりの外科医が自らの能力を最大限に発揮できる社会を目指して、AEGIS-Women は地道に活動を続けていきます。当会の運営にできるだけ多くの会員の皆様に参加していただき、能力や経験などを存分に活かしていただきたいと願っております。当会の活動をより活性化させ、消化器外科における多様性の推進に貢献すべく努力してまいりますので、今後ともどうぞご指導・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

<論文紹介>

2013年から2017年までの NCD を利活用した2本の論文を紹介します。JAMA Surgery は外科領域で最もインパクトファクターの高いジャーナルであり、BMJ は4大医学雑誌のひとつです。いずれの論文もデータの網羅性、解析の手法の精緻性、結果のインパクトに加え、この種の問題が世界的にも普遍的で関心が高いことが評価されたものと思われれます。

1. Kono E, Isozumi U, Nomura S, Okoshi K, et al. Surgical Experience Disparity Between Male and Female Surgeons in Japan. *JAMA Surg.* 2022; 157(9): e222938

本論文では、2013年から2017年までの間に本邦で施行された消化器外科領域の主な術式について、執刀医の性別および卒後年数による手術執刀数の差を解析しました。その結果、女性消化器外科医は男性消化器外科医に比べ、手術執刀数が少ないことが判明しました。その格差は手術難易度が高いほど顕著になり、卒後年数とともに拡大する傾向にありました。消化器外科領域に指導的立場の女性が極端に少ないのは、外科手術のトレーニングの機会が男女均等に与えられていないためだと考えられました。

2. Okoshi K, Endo H, Nomura S, Kono E, et al. Comparison of short term surgical

outcomes of male and female gastrointestinal surgeons in Japan: retrospective cohort study. *BMJ* 2022; 378: e070568

本論文では、2013年から2017年までの間に本邦で施行された幽門側胃切除術、胃全摘術、低位前方切除術について、執刀医の性別による手術関連死、術後合併症発生率の差を解析しました。執刀医の性別による手術短期成績に有意な差はみとめられませんでした。また女性消化器外科医は男性消化器外科医よりリスクの高い症例を多く担当しており、腹腔鏡手術の割合が少ないなどの担当症例の差も明らかになりました。

<函館宣言>

第78回日本消化器外科学会総会において、日本消化器外科学会より発出されました。

- 1) 消化器外科としての男女の均等な活躍を支援します。
- 2) 男女の均等な活躍を達成するために、大規模データベースを用い、定期的に男女の消化器外科医の手術執刀数を検証します。
- 3) 2032年までに消化器外科中難度手術執刀数の男女差をなくし、引き続き高難度手術執刀においても機会均等をめざします。
- 4) 消化器外科における多様な視点が生み出す未来を信じ、真のダイバーシティの実現に向けて会員の意識変革に努めます。会員一人ひとりが、ライフイベントに合わせて希望するキャリアを達成できるよう支援します。

([函館宣言 - Gender Equality & Inclusion - 日本消化器外科学会 男女共同参画委員会 \(jsgs.or.jp\)](https://www.jsgs.or.jp/))

編集：松永理絵、大越香江